

## カーボン装具のお勧め

エンジョイポリオの会 森山 幸恵

私は10年以上前からカーボン装具を使っています。今は2本目です。1本目は8年使いました。まだ使えたのですが、新しい膝継手にしたかったので作り替えました。人によって麻痺の状態や膝の反張等で力のかかり方異なり、壊れたという話は全く聞かなかった訳ではありませんが、カーボン装具はとても丈夫で本体が壊れることはほとんどありません。私自身修理してもらったのは膝継手のロープが切れた時と、マジックテープの交換ぐらいでした。私のカーボン装具の前の装具は材質が異なるだけで形は全く同じでした。カーボン装具に変わってから200g軽くなりました。たかが200gされど200gです。毎日朝起きてから寝るまで長時間付けているので体に対する負担はずいぶん軽減されたと思います。歳を重ね筋力が徐々に低下していくので、体への負担はできるだけ軽くするに越したことはありません。ポストポリオと診断された人はもちろんですが、そうでない人はなおのこと、機能低下防止のためにお勧めしたいと思います。できるだけ長く今の機能を維持するためにもカーボン装具を使うことを検討してみませんか？

装具を作ったけど合わずにお蔵入りしている人も多いのではないのでしょうか。装具がなくても膝を押さえたり、自分で工夫して何とか歩ける人はなかなか装具に慣れないことが多いように思います。私も足関節の固定術後しばらく膝を押さえ歩いていましたが、膝折れしたり膝が反張してきました。変形が進むのが怖かったのと、膝折れの不安なく思いっきり歩きたいと思い、大学入学を機にまた長下肢装具をつけることにしました。今自分の足で何とか歩いている人程カーボン装具にチャレンジして欲しいです。変形防止と足や体幹(内臓への負担も含めて)への負担軽減に絶対に役に立ちます。

カーボン装具の長所は丈夫で長持ちすることですが、一度作ったら作り直しができない欠点もあります。そのため仮装具で十分に家の中や屋外を歩いて不都合なところをチェックして下さい。モデル取りだけで作った装具が一発でピタッと合うことはありません。合わない装具では歩けないので、お試用の仮装具でしっかり歩いて悪いところを発見し、本装具を作る前に手直しすることをお勧めします。1ヶ月ぐらいかけてお試しても大丈夫です。というかそのくらいいろいろな場所を歩いてみないと使い勝手はわからないと思います。

4月からカーボン装具の仮装具と本装具が障害サービスの補装具の支給対象となりました。経済的な負担が少なくなったので、これを機会にすっきりとして軽量のカーボン装具を作りませんか？カーボン装具製作のノウハウは義肢装具士協会等の職能団体がお持ちだと思います。北九州市の荒井義肢製作所でも提供してくれます。ぜひカーボン装具ユーザーになりましょう。

